

44  
A4419

我内國

ハツスヨリ米國新聞、投セシ書  
 之ニ依リテ非常ニ多クノ外國貿易ニ供ス可キ物品ヲ作  
 出スルノ一事ハ衆人民ノ志望及ビ感情ヲレテ大ニ此方  
 向ニ向テ發達セシメテ喚起シタリ否寧口發達セシメザ  
 ルヲ得ザル可シ就中其最モ要用ナルモノハ我が南洋米  
 利加ノ大西洋及ビ大平洋沿岸ノ地、西印度、墨基哥灣ニ於  
 ケル貿易上ノ關係ヲ直接ニナシ敢テ歐羅巴人ノ手ヲ此  
 間ニ假ルヲ須非ズ我自已ノ船舶ヲ以テ之ヲ運送ス可キ  
 ノ一事即チ是ナリ  
 夫レ我國ノ大平洋ニ瀕セルヨリ日本、支那、東印度、アウス  
 トラリヤ及ビ其航海線路ニ當リテ散在セル諸島ト通  
 商ニ與フル所ノ便利アルヲ充分ニ曉解スルニ至ラバ亦

大正十一年四月

タ以テ我自巳ノ船船ヲ用ヒ自  
貿易ノ適當ナル股分ヲ行フ爲ニ其力ヲ盡サントテ促  
スニ至ル可シ而シテ我貿易通商上ニ向ヒ斯クハ刺戟ヲ  
與フルニ至ル可キハ我貿易及ビ航海ノ法規ニ向テ如何  
ナル改革ヲ加ユルヲ以テ之ヲ切要ナリト爲スカ國會其  
人アリ必ズ巴ニ其之ニ應ズルノ用意アル可シト余ハ深  
ク信ヅテ疑ハサルナリ然レ氏余ガ思惟スル所ニ依レバ  
其最初ノ一ノ處措コソ甚ダ緊要ナルモノタルヤ明カナ  
リ乃チ之レ余ガ敢テ諸君ニ向テ熱心ナル注意ヲ喚起セ  
ントテ勉メテ顧ミル所ナキ所以ナリ夫レ我人民ガ今日  
其貿易ノ多分ヲ占得セシト企望スル所ナル此等諸海岸  
及ビ海上ニ於テ英國ガ其通商ノ權ヲ得ルニ及ブニテ其  
先驅ヲ爲シタルモノハ政府ノ保護ニ依リテ定時郵便ノ

汽船ノ往復ヲ開キタルニ出シヤ明カナルガ如シ又タ他  
ノ歐羅巴ノ國民ガ此貿易ノ幾分ヲ已レニ占有セントテ  
英國ト争ヒ其功ヲ遂ゲシト否トハ皆其貿易ヲ要望シタ  
ル場所ハ定時郵便ノ汽船ノ交通ヲ爲シタル如何ニ屬セ  
ルヤ明カナリ且ツ墨基哥及ビ南亞米利加ノ諸國ハ皆比  
國ト如斯基郵便ノ交通ヲ開キ而シテ自己ノ發達ヲ助成  
セザルハナシ又タ之レト同一ナル共働ハ之ヲ東洋諸國  
ニ望ム可ク然レテ又タアウストラリアヨリ之ヲ望ム可  
シ然レ氏如斯基事業ヲ先導セントスルハ敢テ之ヲ一私  
人ノ利益ヲ以テ期望ス可ラザル所ニシテ外國貿易ニ関  
スルモ尚ホ内國ノ商賣ト敢テ異ナル所ナク郵便交通ノ  
事タル必ズ公共ノ主理ニ係ル可キモノナルガ故ニ乃チ  
之ヲ政府ニ屬スルノ事ナリトス余ハ恭シク賛成シテ我

外國貿易ヲ發達シ之ヲ實行スルヲ喚起ス可キ有力ナル  
處措ニ諸君ノ卓觀セラレシニテ期望セントス之ニ及ギ  
テ余ハ又タサン、フランシスコヨウサンドウィッチ嶋ニ  
夫ヨリ北ハ日本ニ南ハアウストラリアニ達スルマテ海  
中ノ電信線ヲ架設スレテ以テ我大平洋ニ於テノ貿易  
ヲ擴充シ之ニ便易ヲ與フルニ就テ必ズ與ツテ大功アル  
可キヲ説カンテ希望スルナリ夫レ世界中ノ通商ニ就  
テ我大平洋ノ海岸ノ適當ナル股分ヲ確取スルニ於  
テ如斯ク航海線路ナル場所ト交通ヲ開クハ大ナル勢  
ヲ得ルハ敢テ多辨ヲ費シテ之ヲ証明スルヲ須井ザ  
ル可シ如斯ク切要ニシテ又タ後ニハ一私人ヲシテ代  
テ其財産ヲ之ニ投ゼシムルニ足ル可キ利益アル事業ハ  
之ヲ一日モ早く國會ニ依テ議定セラレシヲ希望スルモ

亦タ可ナル可キ歟諸君請フ之ヲ熟思セヨ

